

議題1

○第2回上小山田地区資源ごみ処理施設連絡会でのご意見・ご要望【抜粋】

議 題：第2回 上小山田地区資源ごみ処理施設連絡会

日 時：2016年2月15日（月）15:55～17:00

場 所：町田リサイクル文化センター 研修室

出席者：委 員／中丸一男会長、安達副会長、中丸康明委員、彦根委員、田中委員

事務局（町田市）／小島環境資源部長、田後循環型施設建設担当部長
水島環境資源部次長
守田循環型施設整備課長、深澤担当係長、市川担当係長、
中島主任
塩澤環境政策課担当課長
窪倉資源循環課長、河原担当課長、滝統括係長、林統括係長、
岡本係長

コンサルタント（日建設計）

傍聴者：0名

【前回の振り返り】

委嘱式

開会のあいさつ、事務局より配布資料と議題の確認を行なった。

議題1：第1回連絡会で頂いた御意見・御要望について

資料1を用い、事務局から、第1回連絡会で委員から頂いたご意見・ご要望に対して検討した結果について説明した。

議題2：資源ごみ処理施設の機能・規模・配置の考え方について

資料2を用い、事務局から、資源ごみ処理施設の機能・規模・配置の考え方について説明した。

議題3：資源ごみ処理施設の他市事例について

資料3を用い、事務局から、資源ごみ処理施設の他市事例について説明した。

議題4：今後のスケジュールについて

資料4を用い、事務局から、今後のスケジュールについて説明した。

ご要望・ご意見への回答（保留事項の回答を含む）

第2回連絡会

議題1：第1回連絡会で頂いた御意見・御要望について
第1回連絡会でのご意見・ご要望（資料1）

意見 ・ 要望	施設の稼働について ・上小山田の施設は忠生579号線の道路が完成しなければ、仮にこの施設が完成しても稼働しないという事で宜しいか。
回答	意見書にて回答済み ・忠生579号線の道路整備が進まなければ、施設は稼働できないと考えている。

議題2：資源ごみ処理施設の機能・規模・配置の考え方について
資源ごみ処理施設の機能・規模・配置の考え方(案)（資料2）

意見 ・ 要望	施設内の安全対策について ・p3「(4)環境保全対策」で、周辺の対策は記載されているが、施設内の対策（安全、職員の健康管理、見学者に対する広報）はどうなっているのか。
回答	これから具体的に検討し、内容は発注仕様書へ明記する ・市が公設公営で運営する予定である。労働安全衛生上の安全規則などを遵守する。施設整備の具体的な内容は発注仕様書へ明記する（運営については今後の検討とする）。市が考慮する必要がある事は、不特定多数の一般の見学者への対応と、作業環境、作業時間、休憩時間、服装、有害ガスの発生時にそれを除去する仕組み等と考えている。

意見 ・ 要望	建ぺい率・容積率について ・建築計画に対する制約条件、都市計画の規制の中に、この地区は容積率80%、建ぺい率40%とは決まっていないのではないかと。指導要綱で無指定は70・400とあるが、40・80にするような指導があるだけではないのか。
回答	建築基準法の告示で示されている数値である。 ・基本的に用途地域が決まっていない地域は容積率80%、建ぺい率40%と、平成16年（2004年）の5月17日に建築基準法の告示で指定されている。

意見 ・ 要望	施設建設・福利厚生について ・寒川の手選別ラインで働いている方々は、あの臭気の中では大変だと思う。町田市でも同じような施設を作っているのか疑問を持った事と、福利厚生も十分考えて考慮してほしい。
回答	今後の検討とする。 ・臭気対策については、今後の検討のなかで考慮する。

意見 ・ 要望	用地買収について ・ごみ処理施設は都市施設として今後都市計画決定を行う予定とあるが、都市計画決定してから用地買収なのか。
回答	都市計画決定してから用地買収予定 ・都市計画決定してから用地買収する予定である。

議題3：資源ごみ処理施設の他市事例について
資源ごみ処理施設の他市の事例紹介（資料3）
資源ごみ処理施設概要の比較（参考資料）

意見 ・ 要望	施設の特徴についてわかりやすく比較してほしい ・4及び8ページの「施設の特徴」は、類似した項目なので、比較したい。項目が異なるため、今後の視察では項目ごとに合わせて作ると分かりやすい。
---------------	--

回答	<p>了解した</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後の資料作成時には留意する。
----	--

議題4：今後のスケジュールについて

2016年度までの上小山田地区連絡会検討スケジュール(案)および地区連絡会等における今後の協議事項について(資料4)

意見 ・ 要望	<p>施設範囲について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現地について、前回の資料ではよく分からないため詳しい資料を依頼したが、前回とあまり内容が変わらないのはなぜか。
回答	<p>現在表示できる範囲で示しており、明示は難しい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地権者の了解も得ず、公式の会議に提示する事になるため、この程度の表現であることを理解いただきたい。赤い破線で囲ってあるのは、大まかなエリアである。

意見 ・ 要望	<p>稼働時期について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2020年に稼働可能か。 ・リサイクル文化センター完成時点でこの施設が未完成の場合どのような対応となるのか。
回答	<p>道路や周辺整備が決定しないことには、具体的な時期を公表できない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現段階では、2020年稼働に向けて準備を進めている。 ・本施設が間に合わない場合、リサイクル文化センター隣の資源協同組合作業場所のプラントを続けて使用する事もあり得るが、具体的には未定である。

意見 ・ 要望	<p>故障した場合の対応について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どちらかの施設が故障した場合はどのように対処するのか。 ・故障の事を考え、2系統にする、余力を持つ、安全対策を行う等の検討し、何日間も処理できない状況とならないよう検討していただきたい。
回答	<p>故障時等の対応について、今後検討する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相原と上小山田の施設運営の業者が同一か否かにもよるため、今後検討する。 ・予備機の必要性について、予備機を設置する初期費用と、場外搬出し処理するコスト等を比較していかなければならない。ごみの焼却炉のような周辺との協定の仕組みはないが、相互に協力する事はぜひ考えていきたい。そのような対応をすれば、予備機を作らなくても操業を継続できると思う。

意見 ・ 要望	<p>相原地区資源ごみ処理施設について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業の進捗を説明してほしい。2020年で確実か。
回答	<p>具体的な建物配置等の検討中、2020年稼働を目指して準備を進めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の位置、配置、進入路、建物の中の設備の配置は未定だが、エリアの中の大まかな位置や、動線上等の、具体的な検討は行っている。

意見 ・ 要望	<p>敷地面積について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相原・上小山田資源ごみ処理施設は寒川に比べて、敷地面積が2倍なのに処理量が約半分である。敷地面積・建屋・床面積も広いのは何か理由があるのか。
回答	<p>地形上、必要な面積である</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相原は斜面地が多い事と、上小山田は道路が上がるので盛土して法面ができるなど、地形上の関係がある。寒川は平らな地形である。町田は平らでないところで整備するため、この程度の面積が必要と提示している。